

公的医療機関等2025プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

愛知県三河青い鳥医療療育センター

【地域において今後担うべき役割】（P8）

三河地域における重症心身障害児・者の病床の不足に対応するために愛知県が整備した施設であり、今後も引き続き三河地域における重症心身障害児・者及び肢体不自由児の支援拠点としての役割を果たして行く。

【今後持つべき病床機能】（P8）

引き続き重症心身障害児・者及び肢体不自由児の入院・入所のための病床として拡大していく。

【今後の方針】（P9、P10）

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	-	→	-
急性期	-		-
回復期	-		-
慢性期	71		140
(合計)	71		140

- ・重症心身障害児・者及び肢体不自由児の病床を拡大する。

平成31年 4月 120床

平成33年 1月 140床

- ・眼科、皮膚科、外科を新設

【その他の数値目標】（P10）

（医療提供に関する項目）

- ・病床稼働率 92.1%

フルオープン時：病床140床、1日平均入所者129人

（経営に関する項目）

- ・人件費率 70.5%

フルオープン時：支出 1,792,609千円

うち人件費 1,264,627千円

- ・医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合 0.25%

